

資料編

1. スポーツに関する市民意識調査

(1) 調査の概要

◆調査の目的

第2期神栖市スポーツ振興基本計画（後期計画）を策定するにあたり、市民の日ごろの運動やスポーツの実施状況、スポーツ施設に対する要望、今後の本市のスポーツ施策についての考え等を把握し、計画策定の基礎資料とすることを目的にアンケート調査を実施しました。

◆調査対象、方法等

調査地域	市内全域
調査対象者	18歳以上の市内在住の市民
調査方法	Webフォーマットによる配布・回収
調査期間	令和6年10月15日～令和6年11月15日

◆回収状況

回答数	266票
-----	------

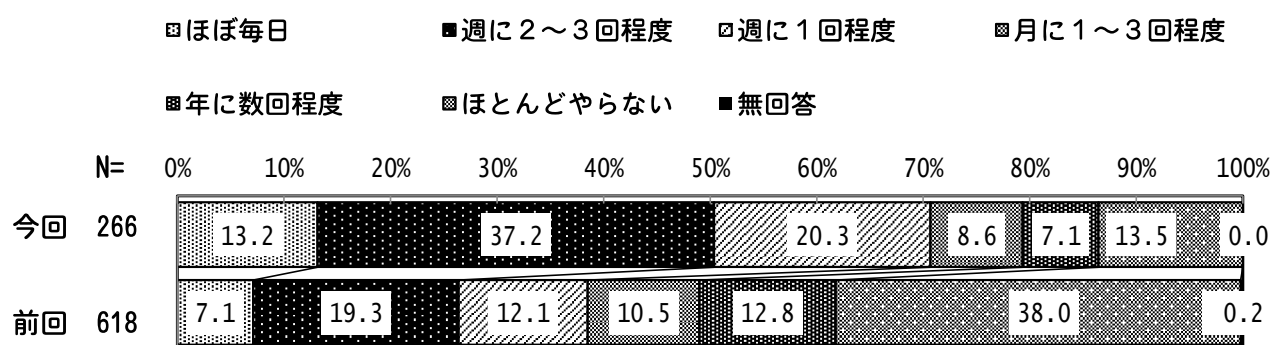


(2) 主な調査結果

①運動やスポーツをする頻度

運動やスポーツをする頻度については、「週に2～3回程度」が37.2%と最も多く、次いで「週に1回程度」が20.3%、「ほとんどやらない」が13.5%、「ほぼ毎日」が13.2%、「月に1～3回程度」が8.6%、「年に数回程度」が7.1%の順となっています。

前回調査と比較すると「ほとんどやらない」が24.5ポイント減少し、「週に2～3回程度」が17.9ポイント増加しています。

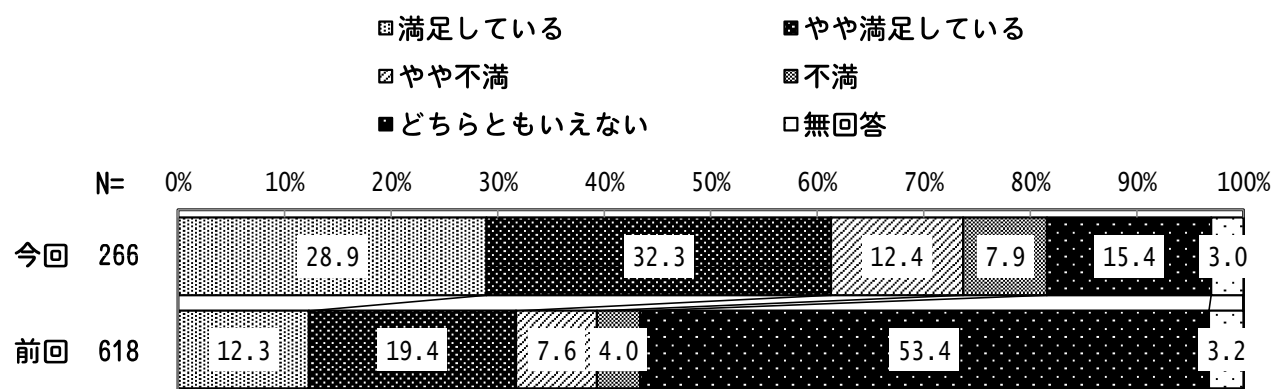


②市スポーツ施設の満足度

利用している市スポーツ施設への満足度については、『満足』（「やや満足している」と「満足している」の合計）が61.2%、『不満』（「やや不満」と「不満」の合計）が20.3%と『満足』の方が40.9ポイント多くなっています。

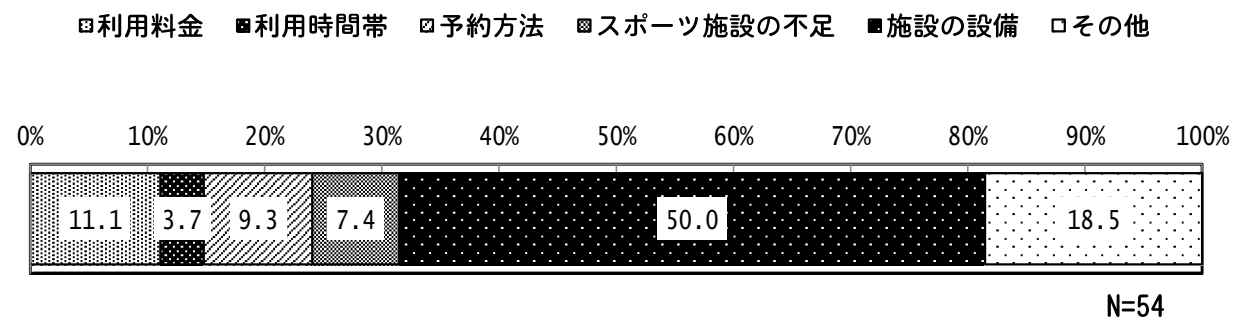
なお、「わからない・利用していない」は15.4%となっています。

前回調査と比較すると『満足』が29.5ポイント増加しています。



③不満の理由

不満の理由については、「施設の設備」が 50.0%と最も多く、次いで「その他」が 18.5%、「利用料金」が 11.1%、「予約方法」が 9.3%、「スポーツ施設の不足」が 7.4%、「利用時間帯」が 3.7%と続いています。



④この１年間にを行った運動・スポーツ種目

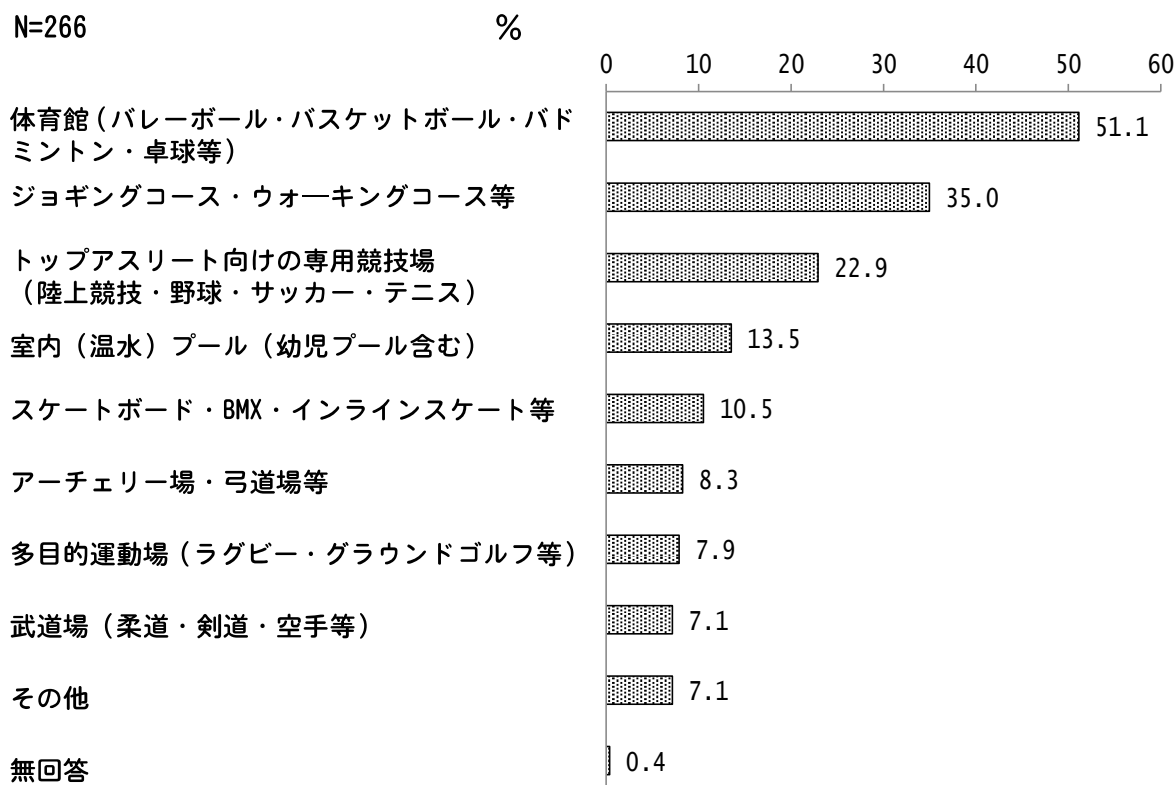
この１年間にを行った運動・スポーツ種目については、「ウォーキング」が32.0%と最も多く、次いで「バレーボール」が27.1%、「バスケットボール」が13.5%、「ストレッチ体操」が12.4%、「ジョギング・ランニング」「ゴルフ（練習含む）」が10.2%と続いています。

１年間にを行った運動・スポーツ種目 N=266

順位	種目	%	順位	種目	%
1	ウォーキング	32.0%	20	水中ウォーキング・アクアビクス等	2.6%
2	バレーボール	27.1%	20	eスポーツ	2.6%
3	バスケットボール	13.5%	23	ダンス・ブレイクダンス	2.3%
4	ストレッチ体操	12.4%	24	エアロビクスダンス	1.9%
5	ジョギング・ランニング	10.2%	24	エアロバイク等の有酸素トレーニング	1.9%
5	ゴルフ（練習含む）	10.2%	26	柔道	1.1%
7	サッカー	9.0%	26	マラソン	1.1%
8	水泳	8.6%	26	無回答	1.1%
8	バドミントン	6.4%	29	剣道	0.8%
10	その他	6.0%	29	その他武道	0.8%
11	テニス（軟式・硬式）	5.6%	29	サーフィン・サップ等マリンスポーツ	0.8%
11	体操（ラジオ体操等含む）	5.6%	32	ソフトボール	0.4%
11	卓球（ラージボール卓球含む）	5.3%	32	スポーツクライミング	0.4%
11	スキー・スノーボード等ウィンタースポーツ	5.3%	32	スケートボード・BMX・インラインスケート	0.4%
15	ウェイトトレーニング	4.9%	32	ラグビー	0.0%
16	弓道	4.5%	32	格闘技	0.0%
17	ヨガ・ピラティス	4.1%	32	ゲートボール・グラウンドゴルフ	0.0%
18	特になし	3.4%	32	スカッシュ	0.0%
19	サイクリング	3.0%			
20	野球（軟式・硬式）	2.6%			

⑤市スポーツ施設に望むこと

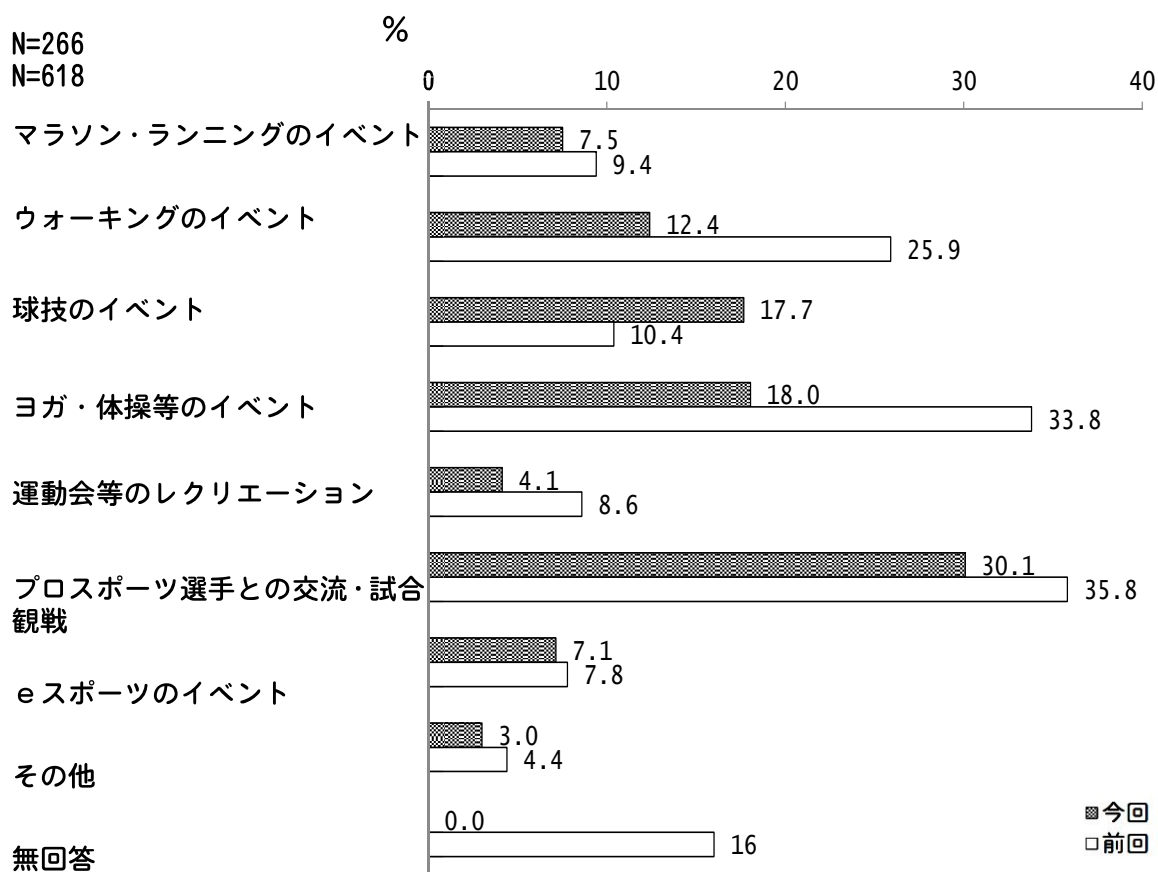
今後、整備が必要とされるスポーツ施設については、「体育館（バレーボール・バスケットボール・バドミントン・卓球等）」が51.1%と最も多く、次いで「ジョギングコース・ウォーキングコース等」が35.0%、「トップアスリート向けの専用競技場（陸上競技・野球・サッカー・テニス）」が22.9%、「室内（温水）プール（幼児プール含む）」が13.5%、「スケートボード・BMX・インラインスケート等」が10.5%と続いています。



⑥今後参加してみたいスポーツイベント

今後、参加してみたいスポーツイベントについては、「プロスポーツ選手との交流・試合観戦」が30.1%と最も多く、次いで「ヨガ・体操等のイベント」が18.0%、「球技のイベント」が17.7%、「ウォーキングのイベント」が12.4%、「マラソン・ランニングのイベント」が7.5%、「eスポーツのイベント」が7.1%、「運動会等のレクリエーション」が4.1%の順となっています。

前回調査と比較すると「球技のイベント」が7.3ポイント増加しています。

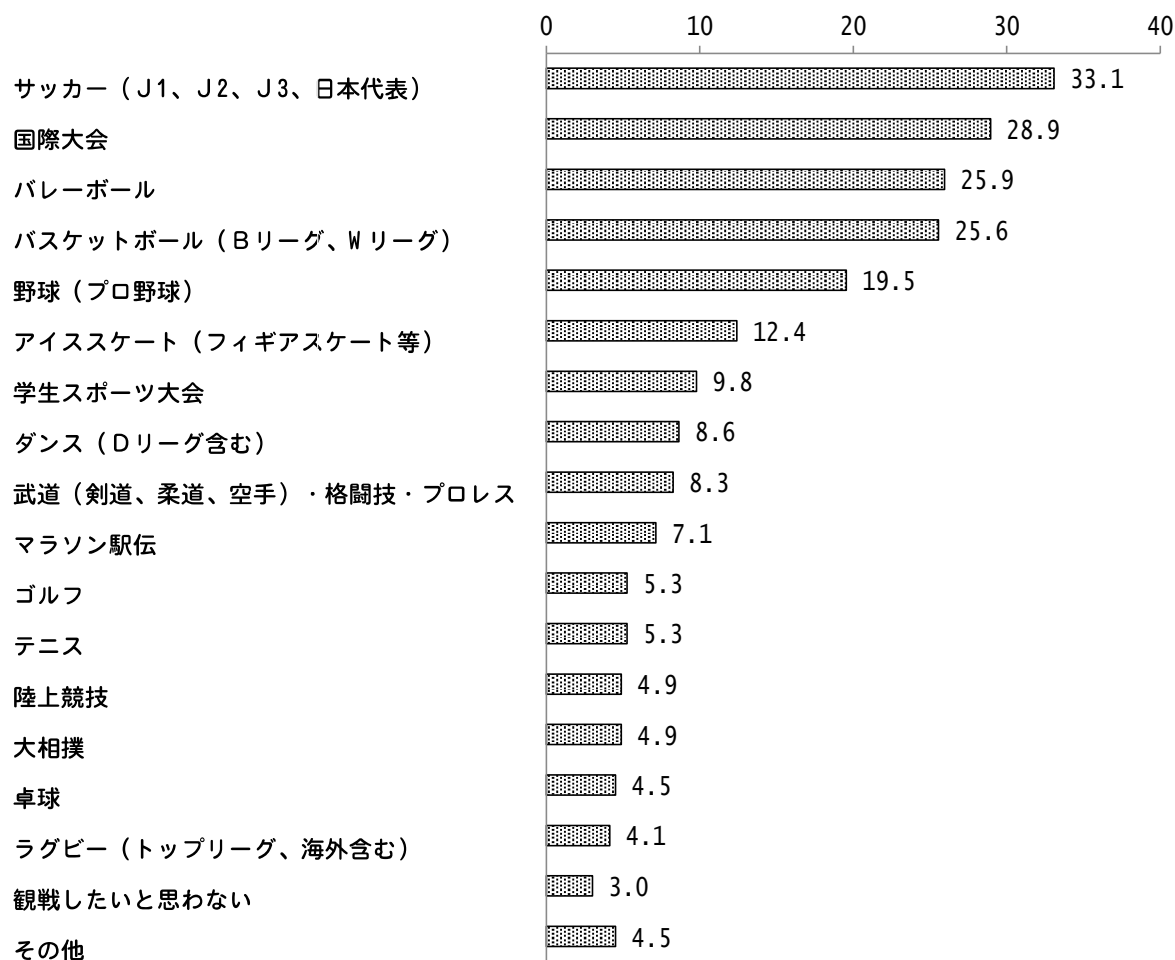


⑦競技会場で観戦したいスポーツ

競技会場で観戦したいスポーツについては、「サッカー（Ｊ１、Ｊ２、Ｊ３、日本代表）」が33.1%と最も多く、次いで「国際大会」が28.9%、「バレーボール」が25.9%、「バスケットボール（Ｂリーグ、Ｗリーグ）」が25.6%、「野球（プロ野球）」が19.5%、「アイススケート（フィギアスケート等）」が12.4%と続いています。

N=266

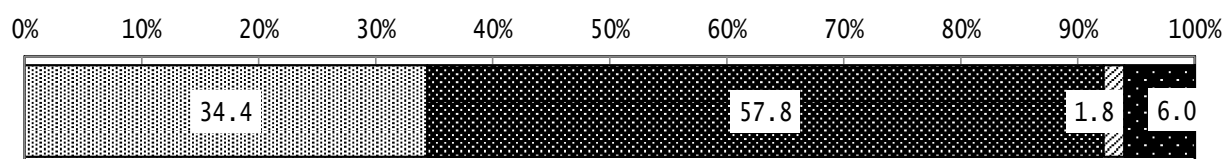
%



⑧「鹿島アントラーズ」「茨城ロボッツ」「茨城アストロプラネッツ」の知名度

「鹿島アントラーズ」「茨城ロボッツ」「茨城アストロプラネッツ」の知名度については、「１～２チームは知っている」が57.8%と最も多く、次いで「全て知っている」が34.4%、「応援しているチームがある」が6.0%、「全く知らない」が1.8%となっています。

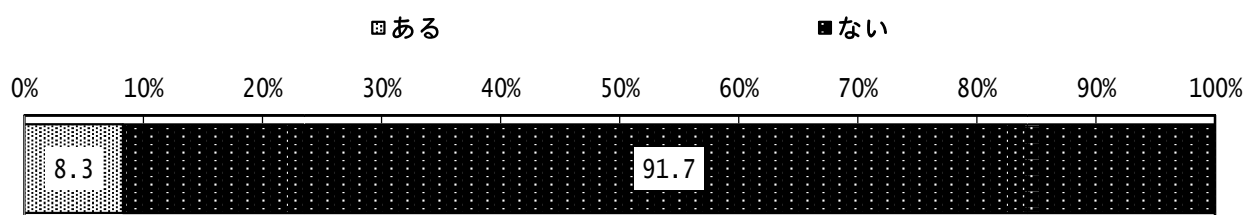
■全て知っている ■１～２チームは知っている ■全く知らない ■応援しているチームがある



N=266

⑨インクルーシブスポーツの経験の有無

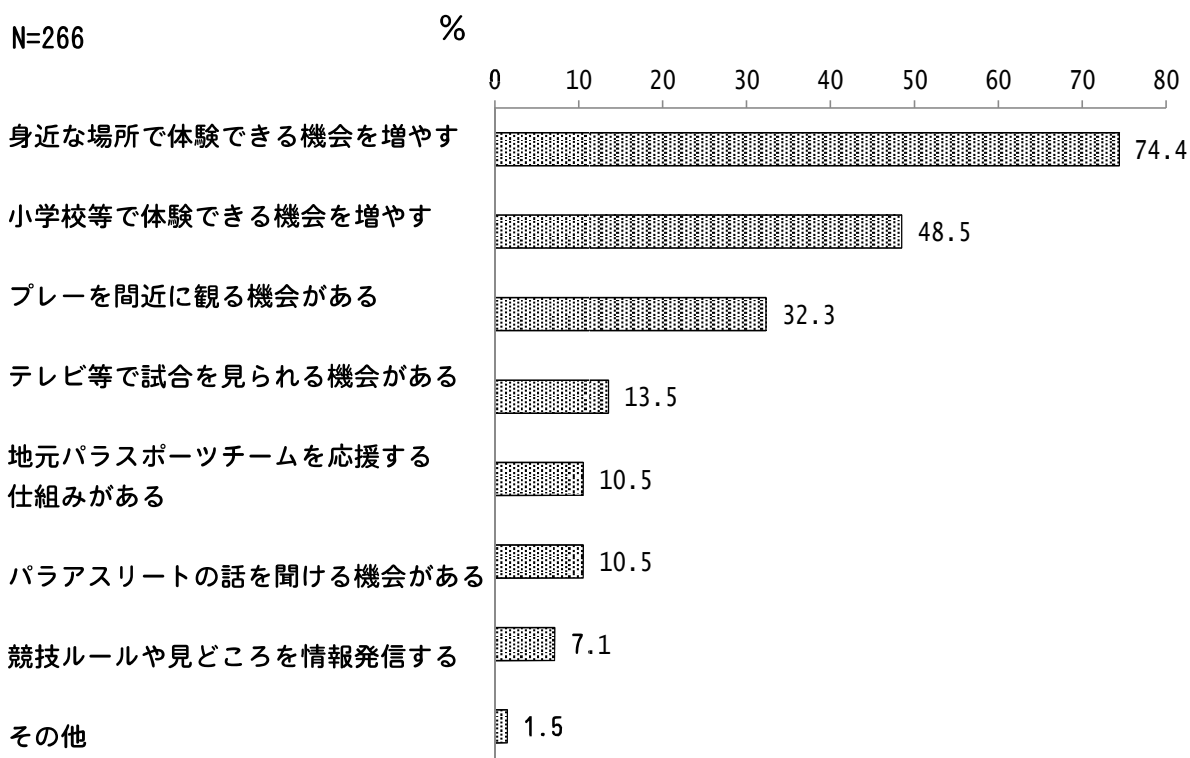
インクルーシブスポーツの経験の有無については、「ない」が91.7%、「ある」が8.3%となっています。



N=266

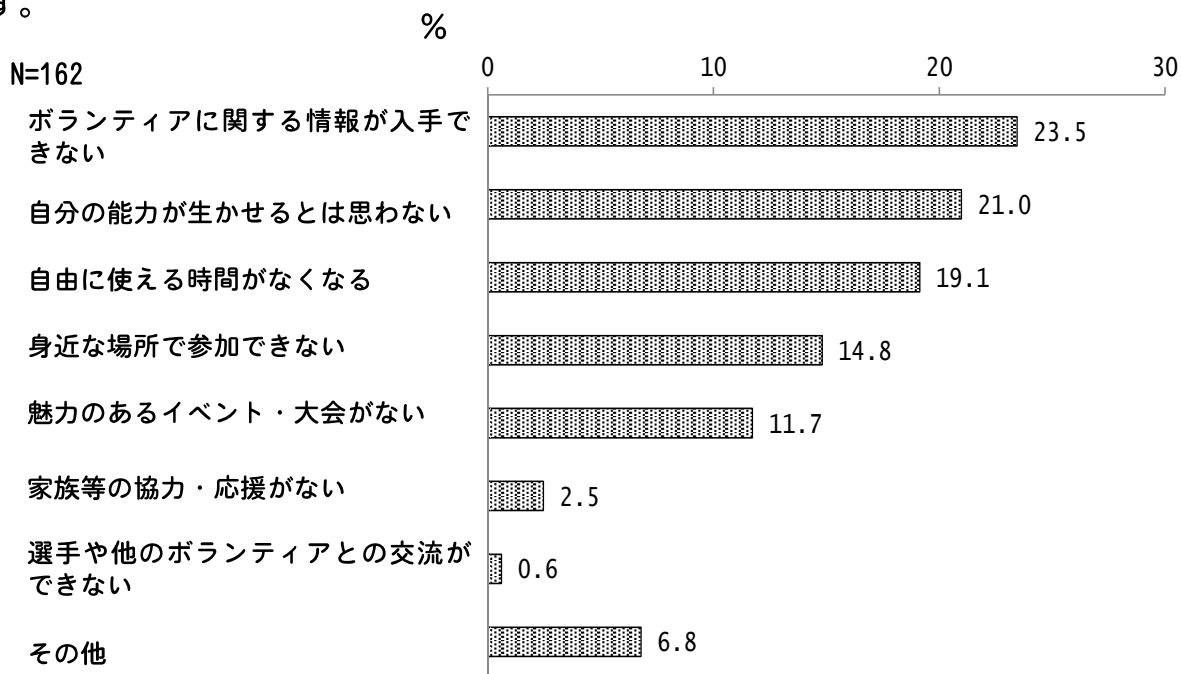
⑩インクルーシブスポーツの普及につながると思う取り組み

インクルーシブスポーツの普及につながると思う取り組みについては、「身近な場所で体験できる機会を増やす」が74.4%と最も多く、次いで「小学校等で体験できる機会を増やす」が48.5%、「プレーを間近に観る機会がある」が32.3%、「テレビ等で試合を見られる機会がある」が13.5%、「地元パラスポーツチームを応援する仕組みがある」「パラアスリートのお話を聞ける機会がある」が10.5%、「競技ルールや見どころを情報発信する」7.1%、「その他」が1.5%の順となっています。



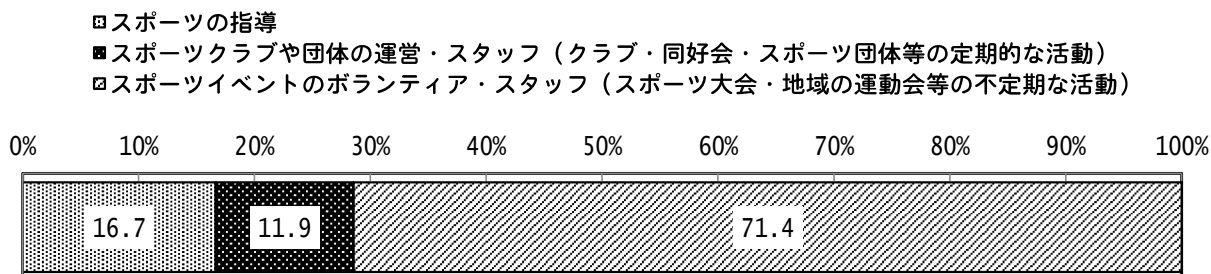
⑪スポーツに関連するボランティア活動を行ったことがない理由

スポーツイベントに「行ったことがない」と回答した人に、行ったことがない理由を聞いたところ、「ボランティアに関する情報が入手できない」が23.5%と最も多く、次いで「自分の能力が生かせるとは思わない」が21.0%、「自由に使える時間がなくなる」が19.1%、「身近な場所で参加できない」が14.8%、「魅力のあるイベント・大会がない」が11.7%と続いています。



⑫どのような内容ならスポーツに関連するボランティア活動を行いたい

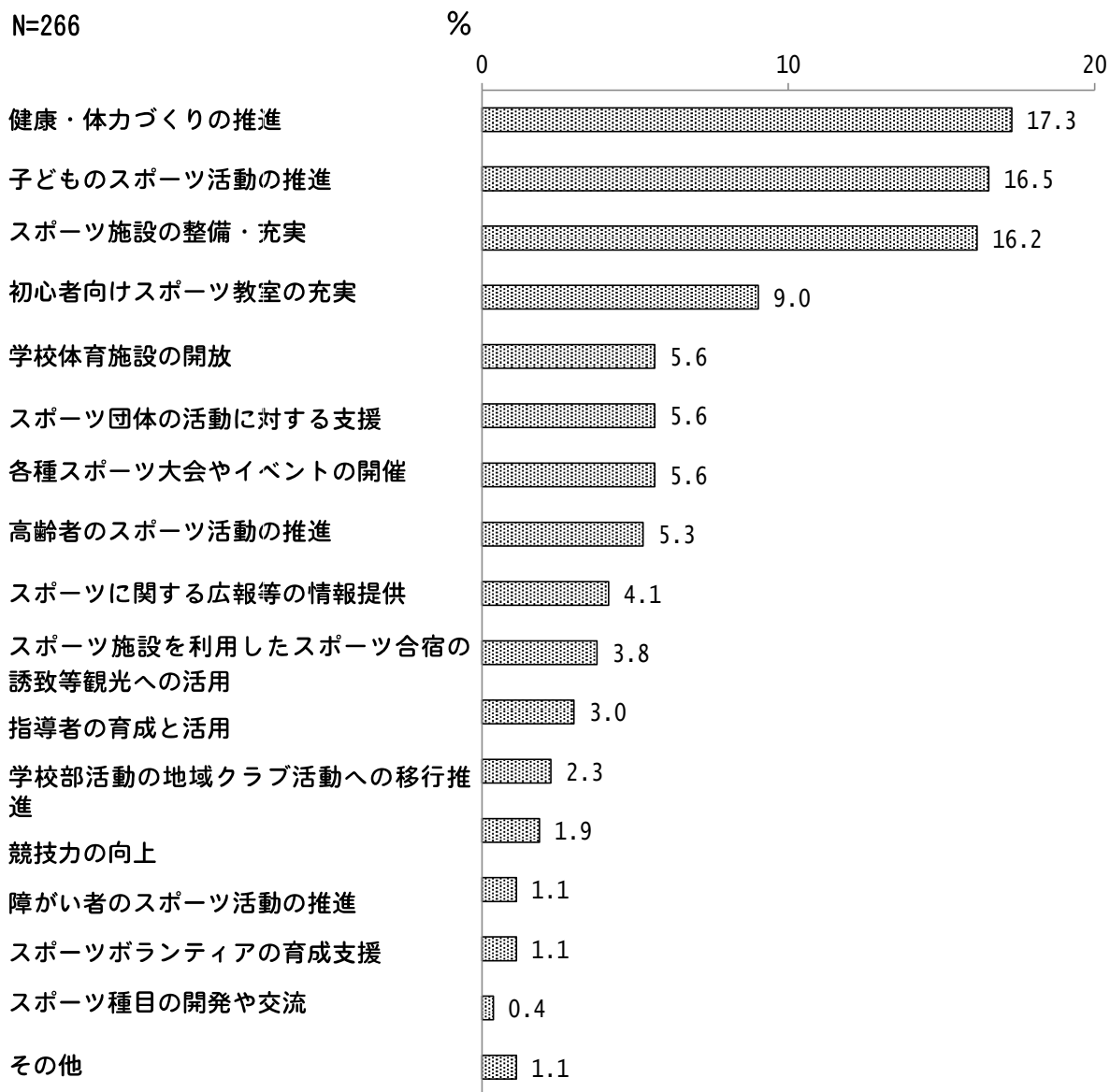
機会があれば「是非行いたい」「できれば行いたい」と回答した人に、どのような内容なら行いたいかを聞いたところ、「スポーツイベントのボランティア・スタッフ（スポーツ大会・地域の運動会等の不定期な活動）」が71.4%と最も多く、次いで「スポーツの指導」が16.7%、「スポーツクラブや団体の運営・スタッフ（クラブ・同好会・スポーツ団体等の定期的な活動）」が11.9%となっています。



N=42

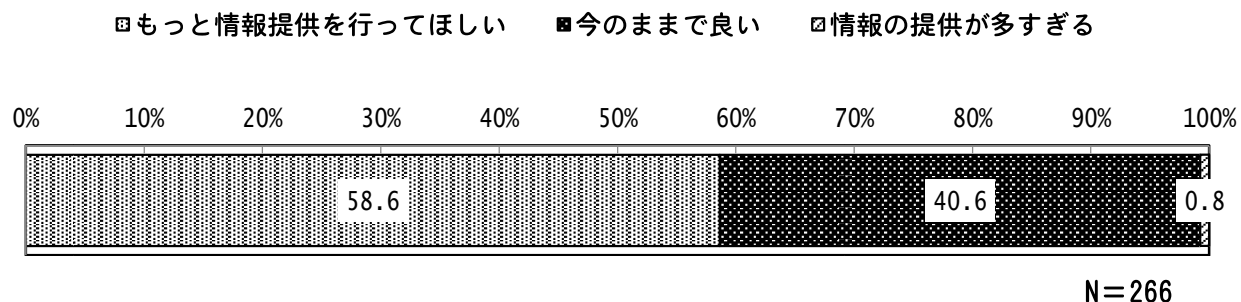
⑬今後重点を置くべき市のスポーツ振興施策

今後重点を置くべき本市のスポーツ振興施策については、「健康・体力づくりの推進」が17.3%、次いで「子どものスポーツ活動の推進」が16.5%、「スポーツ施設の整備・充実」が16.2%、「初心者向けスポーツ教室の充実」が9.0%、「学校体育施設の開放」「スポーツ団体の活動に対する支援」「各種スポーツ大会やイベントの開催」が5.6%、「高齢者のスポーツ活動の推進」が5.3%と続いています。



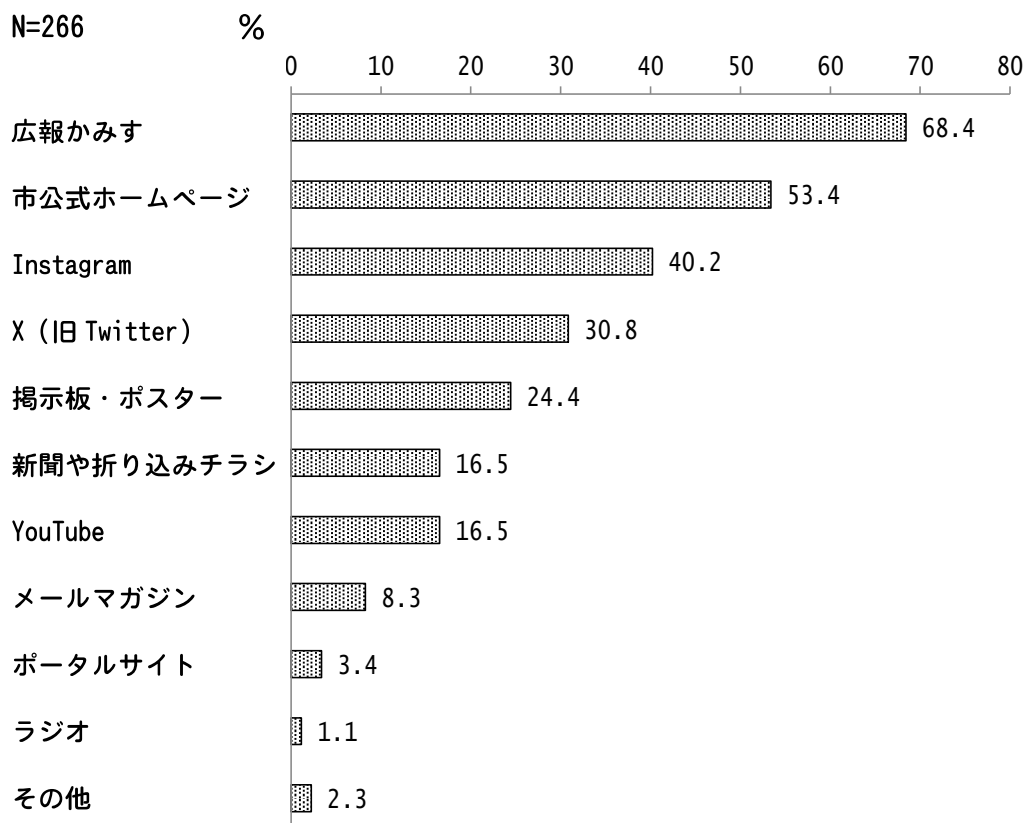
⑭神栖市が行っているスポーツ・運動に関する広報や情報提供について

スポーツ・運動に関する広報や情報提供については、「もっと情報提供を行ってほしい」が58.6%、次いで「今のままで良い」が40.6%、「情報の提供が多すぎる」が0.8%となっています。



⑮スポーツ・運動に関する情報発信方法

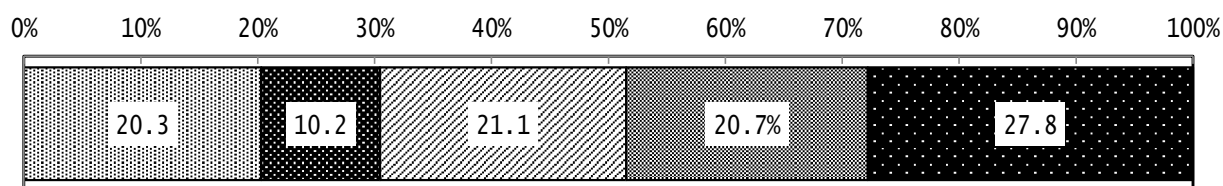
情報発信方法として望まれるツールについては、「広報かみす」が68.4%、次いで「市公式ホームページ」が53.4%、「Instagram」が40.2%、「X (旧 Twitter)」が30.8%、「掲示板・ポスター」が24.4%、「新聞や折り込みチラシ」が16.5%、「YouTube」が16.5%、「メールマガジン」が8.3%、「ポータルサイト」が3.4%、「その他」が2.3%、「ラジオ」が1.1%となっています。



⑩今後の本市としての取り組み方について

今後の本市としての取り組み方については、「プロスポーツの公式試合、各種スポーツ大会や合宿、催し物を開催し、多くの観戦者、参加者に訪れてもらえるような取り組みを進めるべき」が27.8%と最も多く、次いで「市内の小・中学校・高校などの学校体育館の市民への開放をもっと進めるべき」が21.1%、「スポーツ環境を充実させるのは市の責務なので、今後とも市がスポーツ施設を整備すべき」が20.7%、「市でスポーツ施設を整備するのは財政負担となるので、なるべく民間スポーツクラブ（フィットネスクラブ等）の誘致を進めるべき」が20.3%、「市内の民間企業が保有しているスポーツ施設の市民への開放を進めるよう働きかけるべき」が10.2%の順となっています。

- 市でスポーツ施設を整備するのは財政負担となるので、なるべく民間スポーツクラブ（フィットネスクラブ等）の誘致を進めるべき
- 市内の民間企業が保有しているスポーツ施設の市民への開放を進めるよう働きかけるべき
- 市内の小・中学校・高校などの学校体育施設の市民への開放をもっと進めるべき
- スポーツ環境を充実させるのは市の責務なので、今後とも市がスポーツ施設を整備すべき
- プロスポーツの公式試合、各種スポーツ大会や合宿、催し物を開催し、多くの観戦者、参加者に訪れてもらえるような取り組みを進めるべき



N=266

